



和木町の推進構想

- 地域連携教育の「成果」と「課題」
 - やりがいや持続可能な取組につながる「思いの共有」
 - 和木学園構想の理解と当事者意識の醸成
 - 心通うあいさつの充実
 - 地域人材の固定化・高齢化
- 「課題」解決に向けた重点取組事項
 - 周知のための広報活動の充実や「参画」につながる場の設定や取組の充実
 - 当事者意識をもった園小中のCS3部会での話し合い
 - 学校・地域連携カリキュラムの実践と見直し
 - あいさつチャレンジデーの実施、検証
 - 新たな地域人材の参画を意識した募集要項などの作成や育成を意識したつながりづくり、活動に賛同してくれそうな方への声かけ、他市町の募集方法を参考とした選出
- 重点取組事項の進捗を測る指標
 - 和木学園としての活動への申込人数（募集定員の80%以上）
 - …活動中に幟、看板、垂れ幕を掲げ、啓発を行う。
 - 園小中のCS3部会の設定回数（学期に1度）
 - …当事者意識を高めるために事前に話し合う場を設定し、学校・地域連携カリキュラムの積極的な活用を図る。
 - 毎月第一月曜日の「あいさつチャレンジデー」の参加人数（町職員の50%以上）
 - …地域の方（大人）や町職員への周知を徹底する。
 - 和木学農園等の和木学園講座の受講者数（新規受講者が定員の10%以上）
 - …講座のネットワークを利用したり、広報やHPによる研修機会の紹介をしたりする。



和木学園



老若男女問わず、様々な講座を開設し、町民のみなさんの豊かな社会教育を実践。

放課後子ども教室



「居場所」と「豊かな体験」を提供。令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文科大臣表彰受賞。

地元企業との連携



町内にある日本初の石油化学コンビナートの構成企業である三井化学(株)と組んで化学教室を開催。

町コミュニティ・スクール委員会



子どもたちの豊かな成長をめざし、関係者が情報や思いを共有しながら取組を推進。